

令和3年度 第1回能勢町子ども・子育て会議  
～議事録～

日 時：令和4年3月3日(木) 10:00～11:15

会 場：保健福祉センター 集団指導室

出席者：榊山会長・荒木副会長・宇佐美委員・長尾委員・安野委員・的場委員  
塩出委員・鹿嶋委員・井上委員

【計9名】

傍聴者： 1名

事務局： 福祉部 百々部長・中務課長・倉中係長  
上森主事・岩崎主事・藤原社会福祉士  
教育委員会 寺内教育次長、松田課長

- 次 第：1. 開会 司会：中務課長  
2. 議事 議長：榊山会長  
① 令和3年度子ども・子育て支援事業実施状況について  
② その他  
3. 閉会

司会	定刻となったので、令和3年度第1回能勢町子ども・子育て会議を開催する。まず、資料の確認をさせていただく。
	(配付資料確認)
司会	会議の開催に当たり、福祉部長 百々より一言ご挨拶を申し上げます。
百々部長	(挨拶)
司会	資料1をご参照いただきたい。案件に入る前に、出席委員の中で今年度より交代されている方もいるので、各自自己紹介をお願いしたい。なお、本日は山口委員、八木委員、三浦委員、田中委員、山田委員、オブザーバーの田中様より欠席のご連絡をいただいている。
各委員	(自己紹介)
事務局	(自己紹介)
司会	それでは、会長・副会長を代表して榊山会長からご挨拶をお願いする。
榊山会長	(挨拶)
司会	これより進行については、設置条例第6条の規定により、会長にお

	願います。
榊山会長	案件 1 令和 3 年度子ども・子育て支援事業実施状況について、事務局より説明をお願いする。
事務局（福祉課）	（資料説明）
榊山会長	事務局より説明があったが質問等あるか。
宇佐美委員	<p>以前にもファミリーサポートセンター事業に関して、利用者が少ないという話をしている。利用者が少なく認知度が低いところがある。もっと利用できる環境が作ればというような話をしていたが、令和 2 年度実績が 98 に増えている。能勢町の特徴というのは、祖父母が近くに住む家庭が多いというところがあるが、最近は町外から来られている方も増えており、そういった方が祖父母に頼れないとか、コロナで会わせることを敬遠していることなどが理由でないかと思う。ファミサポでお願いすることをちゅうちょされる部分もあると思うが、コロナがなかった場合この実績はもっと伸びているのではないか。ファミサポの提供会員にとっても生きがいの一つになるかと思う。この事業は、特に仕事と子育てを両立する環境でかゆい所に手が届きやすい支援ではないかと、自分自身が利用させてもらっている立場からすると、すごく助かっている実感がある。事業をもっと宣伝してもらって、この見込数も今後修正するべきだと思う。全ての事業が同じように利用されるわけではなく、例えばショートステイは実績がずっと 0 になっている。ショートステイを利用しなくても乗り切れる環境を作ることが何より大事だと思う。コロナ禍でどうしようもない難しい問題があるので、それぞれの事業についてこうすべきだと簡単に言えないが、ファミサポについては今後力を入れてもらいたい。利用した方から横に広がっていくことで、子育てしやすい環境になるのではないかと思う。</p>
榊山会長	ファミサポというのは私自身もすばらしい制度だと思っているが、私のときには提供者がおらず、登録はしたものの提供者につながらなかったという経験があった。先ほど提供会員の方が少し多いという話があったが、能勢町はすばらしいと思う。
井上委員	<p>子どもを保育所で月曜から土曜まで預かっているが、小学校に上がると、児童クラブは土曜日が開所されておらず、土曜日に仕事をされている家庭で確実に困りになる方が出てくると思う。その部分について支援をお願いしたいというところと、どうしようか悩んでいる親御さんでファミサポを利用しようかという方もいらっしゃるが、送迎であれば数百円で済むものの、保育所をお願いしていたのと同じように半日とか夕方まで利用しようとなると、かなりの出</p>

	<p>費になることから、何か補助があると助かるという声が春から 1 年生に上がる保護者の間で上がっている。</p>
荒木副会長	<p>関連するかわからないが、旧歌垣小学校のところで改修整備が進んでいる。令和 4 年内に完成し、供用開始が令和 5 年の 4 月からということを知っている。この拠点施設についていろいろ課題等が出てくると思うが、課題を解消できる活用をすれば、事業の実績についても数字が上がっていくのではないかと期待している。施設はどのように活用されるのか。</p>
事務局（福祉課）	<p>まず、児童クラブの関係について、以前から土曜日の開所についてはご要望として大きいということは認識している。ただ、なかなか実施が難しいというところについては、指導員等の確保が課題となっており、この課題がクリアできないとなかなか実現には結びつかないというところが、課題ということで認識している。そういった中で、ファミサポをうまく活用していきたい。確かに、提供会員の方が上回っているというような状況である。こちらについては、マッチングをうまくしていくことで支援につながることになるので、マッチングにももう少し注力していくということと、利用されたときの声であるとか役立っているというところの周知をもう少しさせていただき、皆さんで助け合える環境を作っていきたい。歌垣の施設については、東側の福祉の拠点施設として、病後児保育事業や小規模多機能型居宅介護を入れていく、また、東部デイの機能を移転させる。それから大きなところでは診療所が施設内に移転するので、これまで医療と施設との連携について距離的な問題があったところが、施設内に併設されるところの効果も期待される。ソフト面の運営については、これから組み立てていくところであるが、住民さんの期待に沿えるような施設にしていきたい。</p>
樺山会長	<p>他にご意見などはあるか。</p>
	<p>（意見なし）</p>
樺山会長	<p>ないようなので、案件 2 その他について事務局の方から何かあるか。</p>
事務局（福祉課）	<p>資料 3 の補足になるが、第 2 次子ども・子育て支援事業計画に掲げる基本目標 1 の中で、様々な関係機関と連携した交流事業の推進ということで、資料 3 の 2 ページにある育児支援教室の他に民生委員児童委員による子育てサロンの開催支援ということで、民生委員児童委員さんの協力により、コロナ禍においても毎月第 2、4 金曜日に子育てサロンにここを開催し、世代間交流を実施している。ただ、今年度については、コロナの影響で開催が 7、8、10、11、12 月だけとなったが、1 回あたり 3～9 人の子育ての家庭が参加しており、地</p>

	<p>域の力を借りながらコロナ禍においても実施している。また、本日の資料で添付している家庭教育情報誌「ほっこり」を、直近では令和4年2月に15号を発行した。来年度も引き続き作成し、内容の充実努めたい。それと、能勢町子育て支援カレンダーということで配布しているが、内容は令和4年度の内容になっており、4月号広報に折り込み案内する。表面については支援センターや保健福祉センターその他各機関の実施する事業の年間カレンダーとなっている。裏面は、能勢子育てイベントまるわかりということで、これを見れば各所属機関の内容がわかるよう取りまとめているので参考にさせていただきたい。</p>
荒木副会長	<p>子育てサロンにここにこのことが事務局から出たが、令和4年度から一極集中でなく、地域に分散した事業展開も必要ではないかということで、今はふれあいセンターで第2、4金曜日にやっているところ、東部地区に完成したさとおか防災センターでにここを実施してはどうかと民児協で検討している。何月頃からになるかわからないが、例えば偶数月の第2金曜日など、月2回あるうちの1回は東の方で実施してはどうかという考えを持っている。これは、東地域からの参加者が少ない状況であるため、交流の場として活用していく必要があるかと思うので、現在検討しているところである。</p>
樺山会長	<p>貴重な情報である。</p>
安野委員	<p>ファミサポについて、私も提供会員という形で登録しているが、一番下の子を出産する際にお休みという形で連絡し、そのまま活動していない。活動再開の声かけもないので登録だけしてそのままになっている。実際に実働している会員はどのくらいの方がいるのか。講習会に参加したときは、講習に来ていたのは10人程度だった。提供会員同士で人数の把握は全然できていないが、実際はそういう状態なのかと思う。先ほど話があったように土曜日に児童クラブが実施していないということを今知ったが、新学校ができて6年目かと思うが、その問題については多分当初から出ているのではないか。それが解決できないのが指導員を確保できないということだったと思うが、それについては外部の業者で対応するとか、そういう検討はされないのか。</p>
樺山会長	<p>事務局からお願いします。</p>
事務局（福祉課）	<p>ファミサポ事業では、実際登録されていてもなかなかマッチングできていない状況ではないかと考えている。講習会については、今年度は中止となった講習会もあったので、来年度、コロナ禍がどのような状況であるかまだ不透明なところであるが、講習会もまた再開させていただきたい。実際登録されていてどのような状況になっているかというところについては、事務局で確認したうえで、必要に応じてお声がけ等もさせていただきたい。また、放課後児童クラブの件について</p>

	<p>は、確かに土曜日の実施ができていないというような状況である。ただ、長期休業期間、例えば夏休み、春休みなどについては実施している。指導員の不足の方が続いており、土曜日の開設というのは事務局でも引き続き努力しているところであるが、実施に至っていないというところでご理解いただきたい。</p>
事務局（福祉課）	<p>1点補足すると、土曜日の開所の話について、学校が28年に開校し、当初、児童クラブの定員40名でスタートしたところ、保護者さんのニーズに対応して定員を70名まで引き上げたというような状況である。当然のことながら、施設に配置する指導員の基準があるため、定員を増やすということはそれだけ指導員の確保が求められる中で、できるだけニーズに対応していこうというところをまずさせていただいた。開設日数についてはプラスアルファの人数というのがどうしても必要ということになるため、引き続き継続した検討課題というふうに思っている。また、他市町村では確かに委託をしているところもあるが、能勢町では直営で運営を行っている。委託と直営それぞれにメリットデメリットがあるので、慎重に検討していくべきではないかと考えている。</p>
事務局（福祉課）	<p>各委員の皆様については、2年の任期、また、途中からご就任いただいたというところである。令和4年3月末をもって2年の任期が終了となる。この間委員の皆様に変にお世話になったことをこの場を借りてお礼申し上げます。</p>
樺山会長	<p>それでは、他にご意見がないようなので、副会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
荒木副会長	<p>（挨拶）</p>
樺山会長	<p>それでは閉会とさせていただきます。</p>
	<p>11：15 閉会</p>